

香取

No.91

普及だより

URL <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-katori/index.html>

令和2年12月1日発行

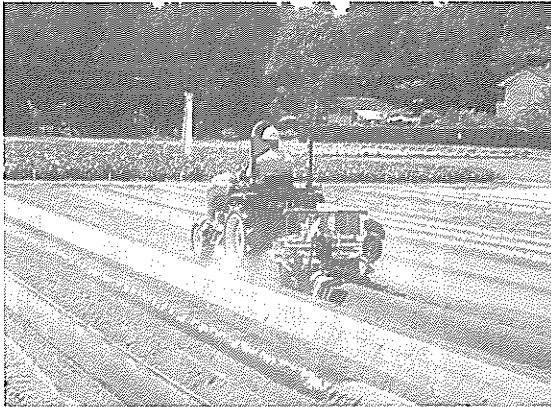
香取農業事務所 改良普及課
香取地域農林業振興協議会

〒287-0003

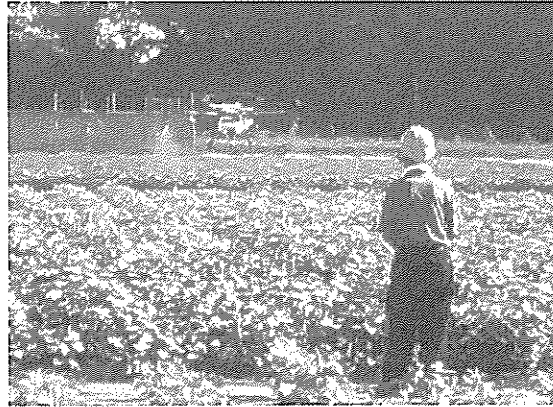
千葉県香取市佐原192-11

TEL: 0478(52)9195

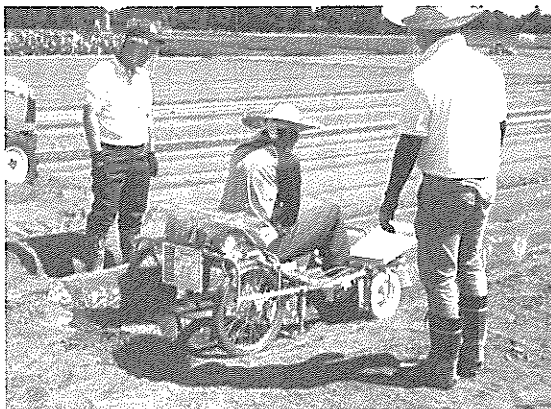
FAX: 0478(55)1703



直進アシスト機能付トラクタ



農薬散布用ドローン



自走式マルチチェアー



アシストスーツ

スマート農業を活用したさつまいも産地強化へ
さつまいも機械実演・ハウス強靱化展開催

さつまいも需要は、近年、焼き芋ブームにより高まっています。また、その需要は国内に留まらず、海外にも及んでいます。

しかし、香取地域の基幹品目であるさつまいもは、高齢化などにより担い手が不足し、作付面積が減少しています。これに対し、香取農業事務所では、さつまいも産地の維持・発展を実現するため、ロボット技術、ICTを活用し、超省力化、労働負担の軽減による、新たなスマート農業の展開を推進しています。

8月21日に畑地園芸研究所で、さつまいも機械実演・ハウス強靱化展を開催しました。当日は、農薬散布用ドローン、直進アシスト機能付トラクタ、アシストスーツ、自走式マルチチェアー等を実演しました。参加者から農薬散布用ドローンを今後活用したいという声を多く頂きました。

香取農業事務所では、スマート農業を活用して規模拡大を目指す農家の育成により産地の維持発展を目指していきます。

最新技術で規模拡大!

〜神崎町スマート農業実証プロジェクト研究会の取組〜

神崎町では、令和元年度より農林水産省のスマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業で水田農業のスマート農業の体系化の実証が行われています。

■事業の実施体制

実証事業は町、JA、機械メーカー等と連携して取り組んでいます。実証生産者は神崎町で集落営農組織として水稲・小麦・大豆約86ヘクタールを営農している農事組合法人神崎東部です。この組織は、近年農地の受託面積が急速に拡大しており、スマート農業の活用により更なる規模拡大を目指しています。

■導入技術とねらい

実証事業では、栽培期間を通して体系的にスマート農機を活用するため、8つの技術が導入されました。

これらの技術を活用して水稲の収量向上、作業時間の削減を図り、コメ生産コストを一俵あたり9600円に削減することを目指しています。

■主な実証成果の紹介

大規模経営では、ほ場数が多くなるため、一筆ごとの細かい管理ができず収量が減少する傾向にあります。また、作業時間が増え、作業の遅れが懸念されています。これらの問題を解決するために期待できる技術を紹介します。

(1)ほ場管理システムと収量メッシュマップコンバインの活用
経営向上には、各ほ場の収量状況を把握し改善を図ることが重要です。

ほ場管理システムは、ほ場を視覚的に整理でき、日々の作業管理に効果的な技術です。また、収量メッシュマップコンバインは、ほ場ごとの収量とタンパク値、及びほ場内の収量ムラが分かる技術です。ほ場管理システムと連携することで、どのほ場

に課題があるかを明確にすることができました。併せて、施肥量の調節が可能な田植機により、ほ場内の生育・収量状況に応じた詳細な施肥を行うことで収量向上が期待できます。

(2)自動運転トラクタによる作業の効率化

このトラクタは、遠隔操作により無人で耕耘・代かき作業ができます。実証試験では、一人で2台を同時操作することで、小麦播種前の耕耘作業を従来の5割減で行うことができました。



自動運転トラクタの協調作業
左：有人操作、右：遠隔操作

(3)農業用ドローンによる防除効果の向上

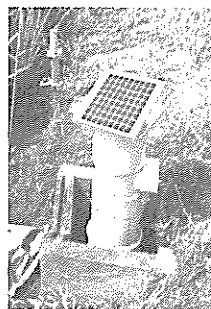
大規模経営では、栽培品種によって防除適期が大きく異なります。ドローンによる農薬散布

時間は10アール当たり2分と早く、生育状況に応じた適期防除が行え、防除効果が向上しました。また、年間約65万円の経費削減効果も確認できました。

(4)自動水管理システムによる直播栽培の安定

春作業の省力化を目的に直播栽培の導入が進んでおり、生育の安定化には初期の水管理が課題となっています。

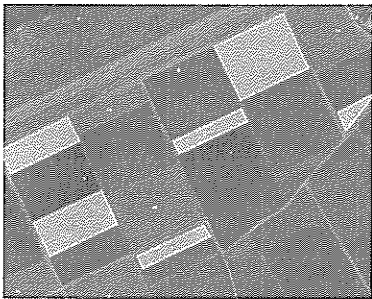
このシステムは、遠隔からほ場の水位を確認し、1ミリメートル単位で入水でき、水管理時間が削減できます。鉄コーティング直播栽培では、芽干し後の水管理において、一定の水位を保つことができ、初期生育を向上させる効果がありました。



自動水管理システム

■今後の普及に向けて

農業事務所では、実証事業を通して各スマート農機の効果的な使用方法の検証と導入効果の分析を行い、管内への普及活動を行ってまいります。



収量マップ
(収量の低いほ場を特定可能)

GAP手法を活用した 作業場の衛生管理について

新型コロナウイルスの流行に伴い、各産業で衛生管理に関する意識が高まっています。作業場の衛生環境の改善にGAPの視点で取り組みましょう。

■リスク評価

まず、作業動線を確認し、農作物の安全性や作業員の安全に関するリスク評価を行います。

農作物の安全性に関して、土・水・肥料・農薬等の生産資材や、はさみ・包丁・雑巾等の作業器具が、生産工程のどのタイミングで農作物に混入する可能性があるか把握しましょう。

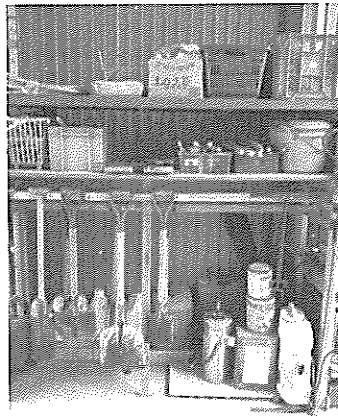
次に作業員の安全に関して、どこに怪我や病気のリスクがあるか考えます。作業機械や服装等による怪我のリスクの他、従業員間の感染症の伝搬リスク等がないか把握しましょう。

■具体的な対策の実施

洗い出したりリスクへの対策として、作業場の改善と農場内ルールの策定を行います。

作業場の改善に関して、資材

置場の明示や危険箇所の表示を行うことで、異物混入や怪我の防止を図りましょう。また、①作業着・手袋等の装着品の取り扱い②農薬・燃料等の生産資材の保管方法③はさみ等の作業器具の取り扱い等に関するルールを決めます。併せて、新型コロナウイルスへの対策として検温やマスクの着用、アルコール消毒、室内の換気等に関するルールを定めておきましょう。



▶置場を決めた作業場

■作業員間での情報共有

最後に、これらの対策は作業員間で十分に共有されることが大切です。策定したルールは壁に掲示する等して全員で取り組む環境作りを行います。

食品安全や作業員の健康意識が高まる中、これを機に農場内の衛生管理を見直しましょう。

ネギ栽培の新たな取組

ネギは千葉県が産出額全国一位の基幹品目です。香取地域は山田地区が古くからの産地として知られていますが、近年、他地区でも青果及び加工業務用ネギの新たな生産拡大の動きが活発化しています。

■ネギ栽培導入の背景

秋冬ネギは水稲との作業競合が少ない作型です。そこで、主に水稲との複合経営品目として営農組合や個人での導入が増えており、佐原地区では新たに農協の部会が設立されました。

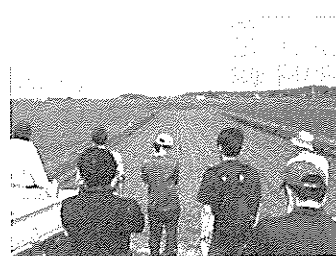
■加工業務用ネギの取組

国内で消費されるネギの約六割が加工業務用です。加工業務用は、定時定量定価格の安定出荷が求められますが、比較的选择別が簡易であり、加工業務用から取組み始める方もいます。

■今後の課題

令和元年度は天候不良によって、排水性の悪いほ場では湿害を受けたり、土寄せができずに軟白長が確保できない事例が多発しました。また、雑草対策や病害虫防除も重要です。経営の

安定のためには、良品生産と併せ、安定的な出荷先を確保する必要があり、関係機関と連携して支援していきます。



生産者と関係機関によるほ場巡回

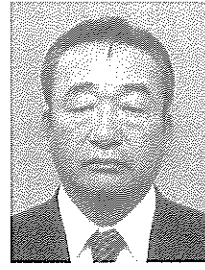
トピックス ネギハモグリバエ別系統の発生について

ネギの主要害虫「ネギハモグリバエ」の中でも、従来より大きな被害を与える別系統の虫が昨年度内で確認されました。葉が白くなるほど集中的に被害されるのが特徴です(写真)。登録農薬により、初期防除を徹底してください。



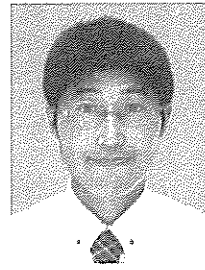
ネギハモグリバエ別系統による被害
(千葉県農林総合研究センター提供)

千葉県指導農業士・
農業士新規認証者の紹介



指導農業士
栗山 雅幸さん
(香取市)

水稻の大規模経営で飼料用米やWCS用稲に取り組み、地域の模範となる水稻経営を実践しています。



農業士
椎名 伸朗さん
(香取市)

露地野菜の多品目栽培に取り組み、地域の雇用を中心とした労働力確保に努め、更なる経営発展に意欲的に取り組んでいます。



農業士
宮澤 裕輔さん
(東庄町)

水稻の大規模経営及び露地野菜の複合経営に取り組み、労働環境や作業場の改善等に意欲的に取り組んでいます。

農地を貸したい方は

御相談ください

農地を必要とする方に貸し付ける農地を探しています。農業からのリタイアを考えている、相続した農地の管理に困っている、水田をやめて畑に専念したいなどの理由により、貸したい農地がある方は、農地のある市町村又は、公益社団法人千葉県園芸協会（農地中間管理機構（以下機構））に御相談ください。機構が市町村と協力して農地の受け手を探します。また、賃料の徴収、支払いは機構が行います。

農地の借り受けを希望する場合も御相談ください。

地域の農地の一定割合を機構に貸す場合や、個人が一定の要件を満たす場合、協力の金が交付が受けられます（別途市町村に申請が必要）。

詳細は市町の農政担当部署または、（公社）千葉県園芸協会農地部（電話043-2223-3011）までお気軽にお問い合わせてください。

【農業の知識を深めたい
あなたを応援します！】

農業経営体育成セミナー
令和3年度受講生募集中！

香取農業事務所では、就農した青年農業者の栽培技術・経営手法の習得とネットワークづくりを目的に3年間のセミナーを開催しています（今年度39名）。

■対象

概ね45歳迄の新規就農者

■研修期間

令和3年5月から3年間

■主な研修内容

- ・ 農業の基礎知識の講義
- ・ 先進的な農業経営者の視察
- ・ 栽培技術の改善や経営分析手法の実習

■お問合せ・申込み先

香取農業事務所改良普及課
0478（52）9195



地元のビジネスマッチングなどにも参加しています。

令和3年度 千葉県立
農業大学校
学生募集！

千葉県農業の発展に寄与する優れた担い手や指導者を目指す学生を募集します。

■募集人員

農学科80名（推薦含む）
研究科20名（推薦含む）

■受験資格

農学科（一般）

高等学校を卒業した者または令和3年3月に卒業見込み者
研究科（一般）
農業大学校または短期大学等を卒業した者または令和3年3月に卒業見込み者等

■出願期間（一般）

A日程 令和2年12月7日～12月18日
B日程 令和3年1月25日～2月5日

■試験日

A日程 令和3年1月8日
B日程 令和3年2月16日

■問合せ・申込み先

千葉県立農業大学校
0475（52）5121

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>